



第11回身近な水環境の全国一斉調査結果概要

発行日 2014年12月6日

編集 全国水環境マップ実行委員会事務局

発行 全国水環境マップ実行委員会

発行所 全国水環境マップ実行委員会事務局
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
みずとみどり研究会気付
TEL/FAX：042-327-3169
E-mail：mizutomidoriken@ybb.ne.jp
URL：http://www.japan-mizumap.org
発行部数 7,000部



本調査は公益財団法人河川財団の河川整備基金の助成を受けて実施しています。

第11回 2014

身近な水環境の 全国一斉調査

●●笑顔でつなぐゆたかな水辺●●

第11回
調査結果概要

2014

目次

I 調査の背景	P.1
II 調査の実施手法	P.2
III 調査結果の概要	P.3
全国一斉調査諸データの推移	P.4
2014 全国水環境マップ 第11回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.5
2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果	P.6
IV 各ブロックでの調査結果	P.7
北海道地方	P.7
東北地方	P.8
北陸地方	P.9
関東地方	P.10
中部地方	P.11
近畿地方	P.12
中国地方	P.13
四国地方	P.14
九州・沖縄地方	P.15
V 一斉調査結果の活用事例紹介	P.16
VI 継続調査参加団体	P.19
VII 全国水環境マップ実行委員会名簿	P.20
VIII 身近な水環境を調べよう! 第12回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い	P.21
第12回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙	P.22

※「身近な水環境の全国一斉調査」は、毎年6月に統一調査日を設け、2004年から市民団体と河川管理者が連携して、全国の河川や湖沼など身近な水環境の水質を調査しています。
本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者のみなさんのご意見も掲載しました。

調査器材は(株)共立理化学研究所から提供を受けています。

全国水環境マップ実行委員会

後援 国土交通省 環境省

印刷 エキノックス

I 調査の背景

近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は 1980 年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの市民調査の結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉で調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。そのため、2004 年から全国で水質調査を実践している市民団体等が国土交通省及び財団法人河川環境管理財団(当時)と連携して、全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、全国の水環境マップを作成することにしました。

「身近な水環境の全国一斉調査」により多くの河川などで水辺の様子や水質などの現状が把握できます。一斉調査は当日の天候にも影響されますが、さらに、毎年、継続して実施することにより水環境の変化やその原因などが明らかになります。市民が自ら水質を調査し、水環境の実態を明らかにすることにより、その保全と修復に関する今後の活動へ発展することが期待されます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は 2004 年 6 月に開始され、11 年間で延べ 76,000 人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ 58,000 地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

「身近な水環境の全国一斉調査」は 2004 年 6 月に開始され、11 年間で延べ 76,000 人を超える市民や学校の子どもたちが参加し、全国の調査した水辺の延べ数はおよそ 58,000 地点です。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

目的と意義 ～自分たちで調べて、環境保全につなげよう～

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる(行政による水質調査結果の公表はおおよそ 1 年後である)。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100 年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

II 調査の実施手法

調査の概要

調査日：2014 年 6 月 8 日(日)を中心に実施
調査者：『全国水環境マップ実行委員会(委員長：小倉紀雄・東京農工大名誉教授)』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。
調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、パックテストで COD を測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と 3 種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することが出来ます。また、パックテストで COD を測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することでパックテストの反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●COD(化学的酸素要求量)

水質汚濁の指標の一つとして用いられます。今回の調査も同一のロット番号(製造番号)のパックテストを用いて、同一試料を 3 回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。 ※パックテストは、株式会社共立理化学研究所の登録商標です。

調査の手法

●採水

- ①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
- ②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
- ③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に共洗いします。
- ④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
- ⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●CODの測定

- ①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
- ②添付の操作手順書に従い測定します。
- ③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
- ④同じ試水で 3 回測定します。



Ⅲ 調査結果の概要

調べてわかる 身近な水辺

この調査は、毎年6月に全国の水辺で一齐におこなっています。この時期、沖縄では梅雨入りをしている一方、北海道では雪解け水が河川に流れ込み水温が低くなってしまうなど、南北に長い日本列島では各地の状況は様々です。今年は一齐調査の時期に多くの地域が豪雨となり、実施についての問い合わせが事務局にありました。事務局では、安全に十分注意していただき、危険と判断される場合は延期していただくようお願いしました。雨はやんでいても増水をしている場合も同様です。一部の方からは、『調査の実施は可能であるが、平常時と異なる水質なのは明らかなのに実施をするのか?』といった問い合わせもありました。多くの雨により水質が良くなる河川、悪くなってしまう河川、各地域の状況でいろいろな変化が生じます。それらは経年的に水質を調査していれば解ってくるものの一つだと思います。

全国統一日

調 査 日 2014年6月8日(日)
参加団体数 334団体(個人参加含む)
調査地点数 1,664地点

調査総数(全国)

期 間 2014年5月3日～7月26日まで
参加団体数 792団体[参考:第1回 531団体、第2回 1,000団体、第3回 944団体、第4回 917団体、第5回 997団体、第6回 1,011団体、第7回 913団体、第8回 885団体、第9回 926団体、第10回 865団体]
地 点 総 数 5,544地点[参考:第1回 2,545地点、第2回 5,018地点、第3回 4,923地点、第4回 5,473地点、第5回 6,241地点、第6回 5,683地点、第7回 5,909地点、第8回 5,653地点、第9回 5,581地点、第10回 5,421地点]
※8月に実施した調査結果を送っていただいた団体もありますが、これらは参考データとさせていただきます。

調査地点(海外)

なし

調査のまとめ

今年は792団体、5,544地点で本調査が実施されました。今年の全国一齐調査日の直前に西日本で大雨、全国一齐調査日に西日本で晴れた地域があったものの大雨の影響により水辺に近寄ることが危険な地点もありました。また、東日本の各地では豪雨となり調査を中止にせざるを得ない状況の団体が多く出ました。翌週末も雨が降り、調査の予定が大幅に変更されてしまった団体もあり、全国的に調査日がやや分散した形となりました。それでも多くの方に参加をしていただき、今年も全国の水辺の状況をまとめることができました。

CODの水質結果では、全国のデータの割合がCOD 0～3mgO/L未満が35%、3～6mgO/L未満が38%、6mgO/L以上が27%となりました。CODが6mgO/L以上の地点が27%とやや少ない傾向にあった。大雨の後の下水処理水が6～7割流入している都市河川で毎年調査をしている参加者からは、「今まで見られなかった水質のきれいさに大変驚いた。」とのコメントがありました。

昨年の本調査結果概要、調査のまとめの項目でも記述をしましたが、国土交通省の河川の担当課だけでなく、下水道関係者などとも連携をとりはじめ、河川の水質などの向上のため本調査の結果や市民の声を役立てていきます。



全国一齐調査諸データの推移

●年別 参加団体及び調査地点数集計結果

作成：全国水環境マップ実行委員会

都道府県名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点	団体	地点
1 北海道	7	26	17	48	20	112	38	179	48	273	41	184	35	264	33	158	35	202	28	139	29	131
2 青森県	11	35	14	35	11	24	13	41	13	30	6	19	7	31	8	31	9	22	5	15	5	16
3 岩手県	8	24	21	35	12	30	13	36	9	41	12	24	11	76	12	49	7	18	6	16	7	23
4 宮城県	5	58	11	95	17	122	8	96	7	92	13	110	7	70	7	30	10	43	9	36	6	27
5 秋田県	2	5	9	27	9	30	10	44	16	50	6	42	5	24	4	11	4	13	3	8	2	6
6 山形県	105	271	112	275	80	211	28	55	60	162	21	50	23	50	2	51	2	51	2	53	3	54
7 福島県	1	3	4	4	2	3	11	38	12	46	6	38	4	87	5	48	6	87	6	42	6	42
8 茨城県	46	235	43	303	38	295	30	295	27	283	34	293	30	278	30	297	34	293	43	320	41	295
9 栃木県	2	4	2	4	9	27	12	41	6	25	6	16	4	9	3	5	6	15	4	6	4	11
10 群馬県	2	2	10	39	9	36	8	23	6	48	9	54	6	51	5	46	5	69	5	44	10	121
11 埼玉県	47	252	94	444	87	438	46	450	110	603	79	470	75	539	66	454	70	477	61	450	61	468
12 千葉県	4	16	13	40	40	114	17	98	16	97	17	82	19	79	15	66	18	85	18	159	18	133
13 東京都	87	373	116	546	112	521	120	543	113	640	111	648	116	723	94	599	111	630	105	689	109	651
14 神奈川県	19	72	29	193	39	220	41	256	23	236	28	230	35	266	30	277	36	298	38	321	37	378
15 新潟県	5	85	26	190	34	224	30	340	59	412	54	346	54	417	47	335	27	367	24	298	26	317
16 富山県	0	0	7	15	5	9	11	36	8	28	7	27	7	26	7	28	7	24	5	22	4	15
17 石川県	2	13	12	48	6	16	7	19	5	12	7	15	5	13	5	13	5	12	3	8	2	7
18 福井県	6	20	3	41	5	46	3	43	4	52	7	61	4	50	5	49	2	45	4	50	3	47
19 山梨県	49	213	70	250	41	161	36	160	36	147	42	163	41	163	43	194	41	162	40	169	39	171
20 長野県	4	11	19	68	8	64	10	53	14	97	26	130	19	116	26	196	25	208	28	222	23	289
21 岐阜県	5	23	9	29	9	31	9	36	16	55	18	71	10	33	11	26	14	35	15	35	14	40
22 静岡県	24	106	24	93	24	103	17	66	12	196	10	47	8	44	10	34	9	30	10	54	10	25
23 愛知県	22	66	35	142	31	115	27	70	38	89	54	164	33	110	22	78	26	114	25	114	23	127
24 三重県	2	55	11	79	13	82	11	101	8	97	16	121	15	106	9	47	9	44	8	39	6	17
25 滋賀県	4	114	54	473	63	605	86	739	87	773	114	709	110	760	98	721	116	646	103	594	96	588
26 京都府	4	40	7	55	9	49	7	54	6	101	21	108	18	111	18	119	19	104	15	71	15	104
27 大阪府	14	81	14	91	17	124	20	157	15	154	30	236	53	338	55	301	64	280	43	229	37	201
28 兵庫県	2	13	19	65	23	84	22	82	17	78	32	98	33	129	35	150	41	147	37	125	37	147
29 奈良県	2	7	13	26	7	46	6	31	9	31	23	56	12	42	16	55	18	56	15	42	14	44
30 和歌山県	0	0	5	20	2	6	5	13	9	27	7	14	12	28	6	22	14	48	8	22	4	22
31 鳥取県	3	8	4	11	2	4	4	6	4	10	3	4	1	2	2	4	2	4	2	5	2	5
32 島根県	1	2	3	6	4	12	1	2	2	10	5	20	3	13	2	11	3	15	7	16	8	28
33 岡山県	1	20	12	143	16	164	15	176	12	176	17	183	17	199	12	195	25	238	13	217	12	196
34 広島県	1	17	4	45	9	91	7	80	7	83	5	76	5	73	3	18	3	43	5	54	5	47
35 山口県	5	17	6	21	5	18	2	27	7	99	4	34	3	16	3	17	6	23	6	25	5	21
36 徳島県	8	74	16	72	12	29	24	147	23	95	13	54	9	38	103	376	38	142	36	144	31	158
37 香川県	1	2	3	9	5	12	8	18	5	17	6	19	5	16	4	12	5	12	4	13	3	12
38 愛媛県	7	60	39	519	13	166	14	219	11	285	11	209	17	210	14	237	13	150	11	133	6	175
39 高知県	8	33	29	96	34	99	60	197	21	52	26	68	17	68	16	72	17	58	10	43	14	45
40 福岡県	4	29	11	36	11	63	14	56	21	104	19	84	16	66	14	60	17	77	17	61	21	82
41 佐賀県	0	0	33	123	32	110	33	124	37	120	37	112	26	82	17	57	10	43	15	56	11	36
42 長崎県	0	0	7	16	9	15	5	10	4	10	5	12	6	13	4	12	6	16	8	25	7	73
43 熊本県	1	3	2	11	4	15	11	21	8	34	4	13	4	9	1	3	3	10	9	33	4	19
44 大分県	6	19	6	18	5	30	4	21	7	40	7	47	5	19	4	18	2	26	5	47	3	36
45 宮崎県	8	34	8	44	8	44	8	43	4	39	3	33	2	7	3	38	4	49	4	62	3	47
46 鹿児島県	0	0	12	41	15	70	14	77	9	59	10	55	2	7	3	8	7	14	4	8	4	13
47 沖縄県	2	4	13	34	12	33	11	54	6	33	7	34	7	38	8	32	8	36	10	63	6	34
合計	547	2,545	1,031	5,018	978	4,923	937	5,473	997	6,241	1,039	5,683	956	5,909	940	5,660	959	5,581	882	5,397	836	5,544
実団体数	531		1,000		944		917		997		1,011		913		909		926		865		792	

ただし調査団体数は同一団体が他都道府県に及んでいる場合重複カウントしている。 実団体数の数値が真値。

●参加者記入票集計結果

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
参加者総数	4,000	8,377	8,464	8,151	8,737	8,204	6,905	6,084	6,389	6,040	4,834
小学生以下		3,739	3,289	2,919	2,498	2,216	1,860	1,721	1,719	1,545	1,186
中学生以上の学生		945	923	931	958	919	766	684	704	851	707
大人		3,563	3,827	4,516	4,955	4,697	4,026	3,602	3,503	3,568	2,838

参加者記入票の人数は参加者からの記入されているとおりにカウントしている為、参加者総数と各年代の合計と必ずしも一致しません。

●一齐調査日実施状況

実施年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
団体数	360団体	600団体	587団体	547団体	508団体	569団体	510団体	499団体	518団体	468団体	334団体
地点数	1,875地点	3,288地点	3,044地点	3,158地点	3,483地点	3,072地点	2,755地点	2,755地点	2,598地点	2,648地点	1,664地点

●海外データ

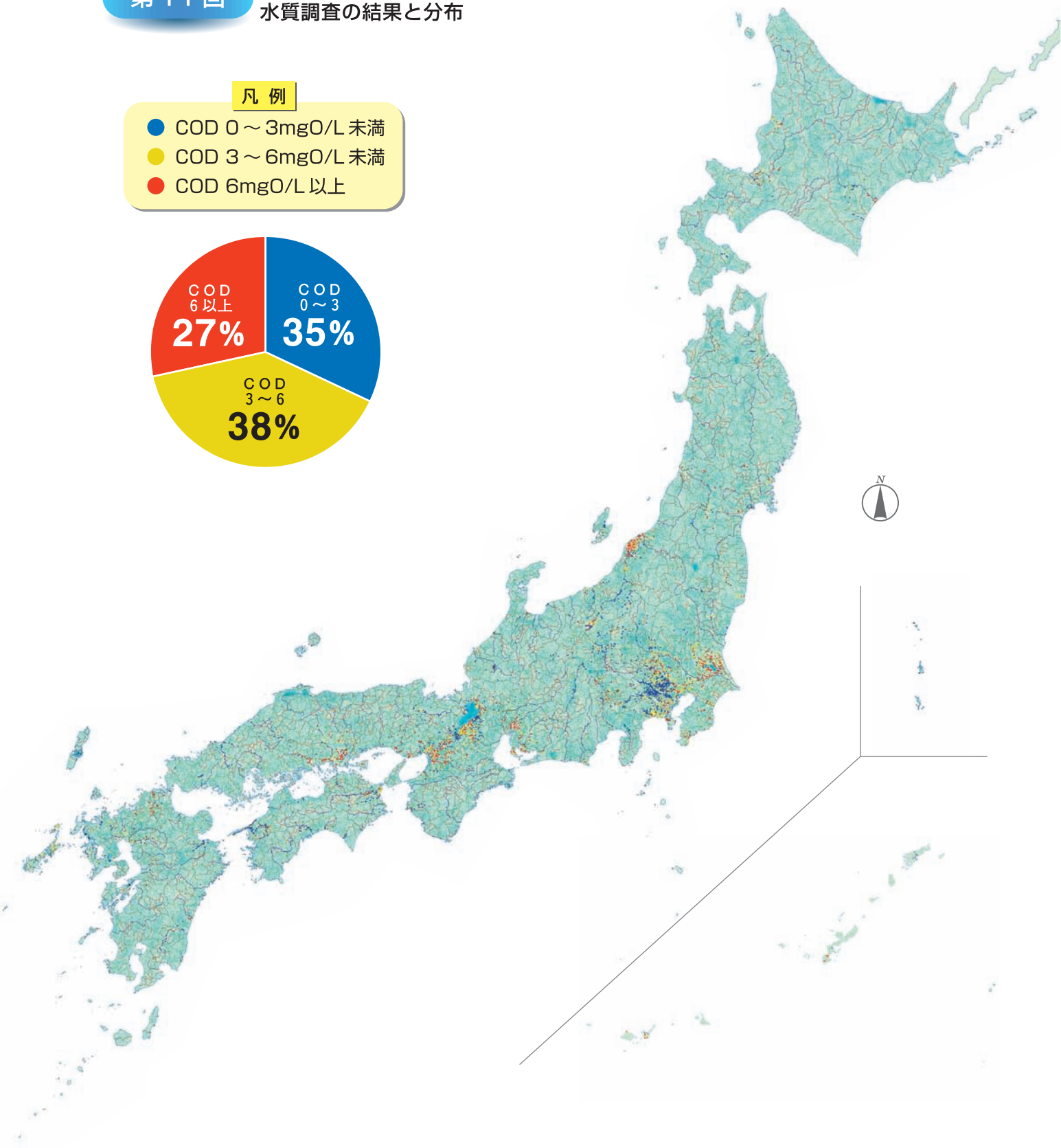
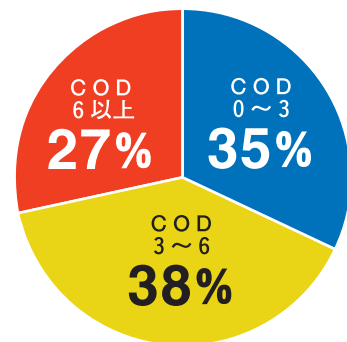
国名	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数	地点数	河川数
中国	8	5	63	—	3	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
韓国	4	1					3	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
チェコ共和国				1					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
イギリス									—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—

2014全国水環境マップ

第 11 回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡 例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

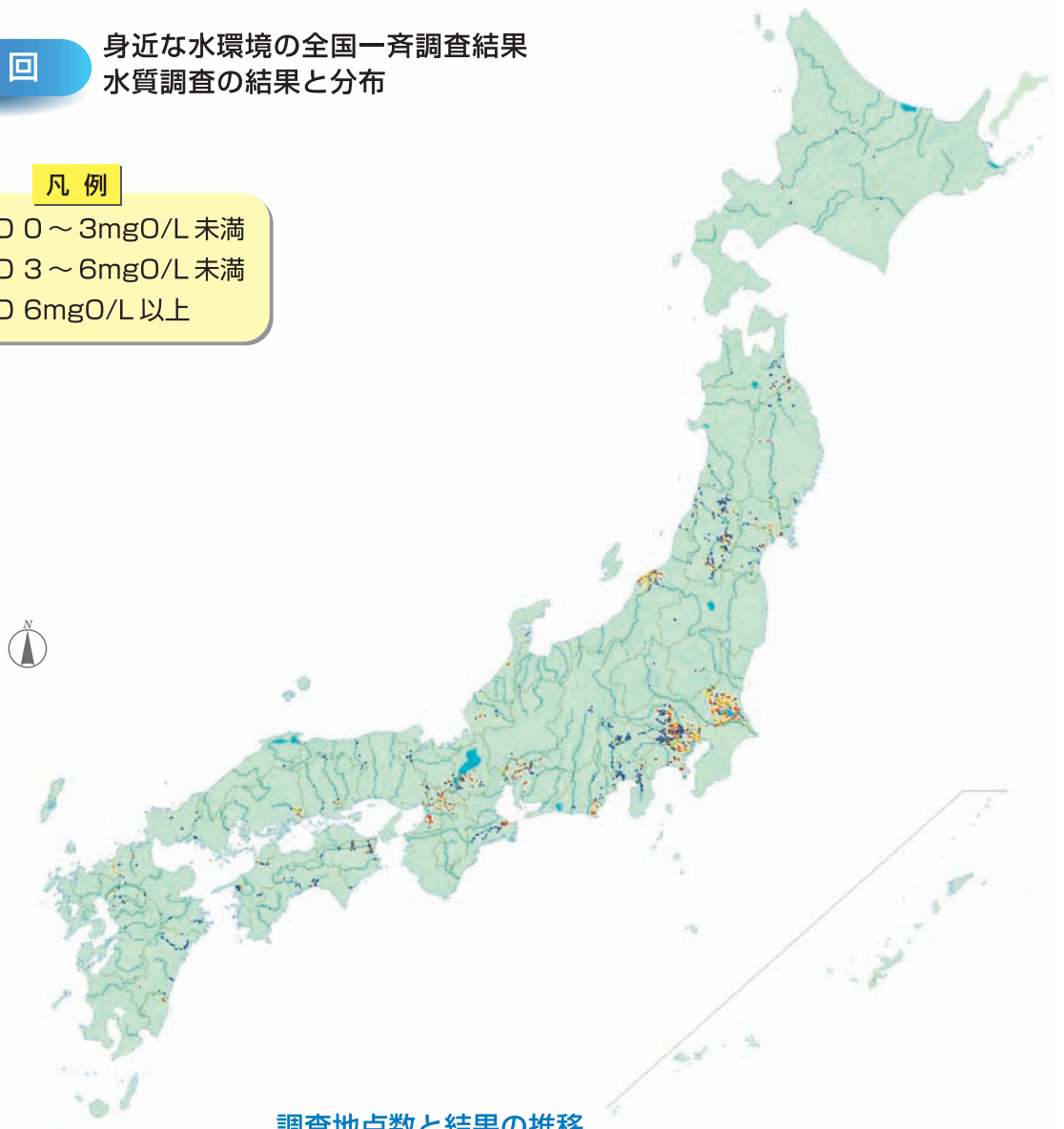


2004全国水環境マップ

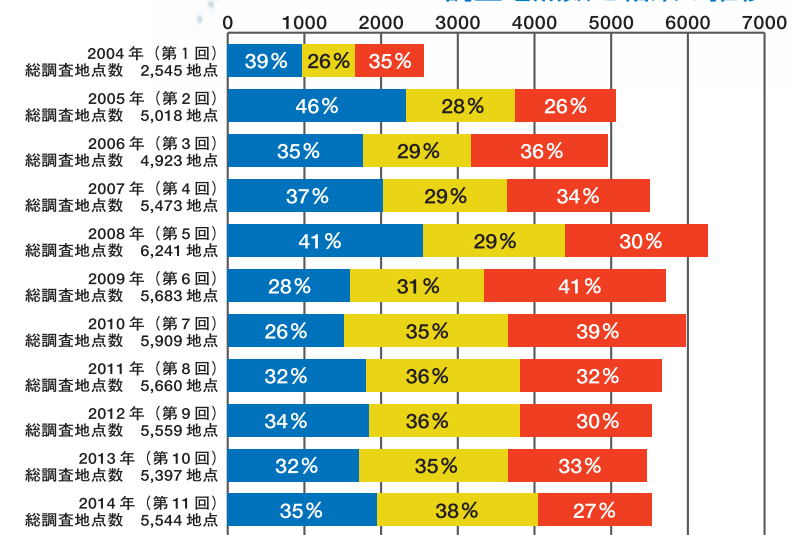
第 1 回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡 例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



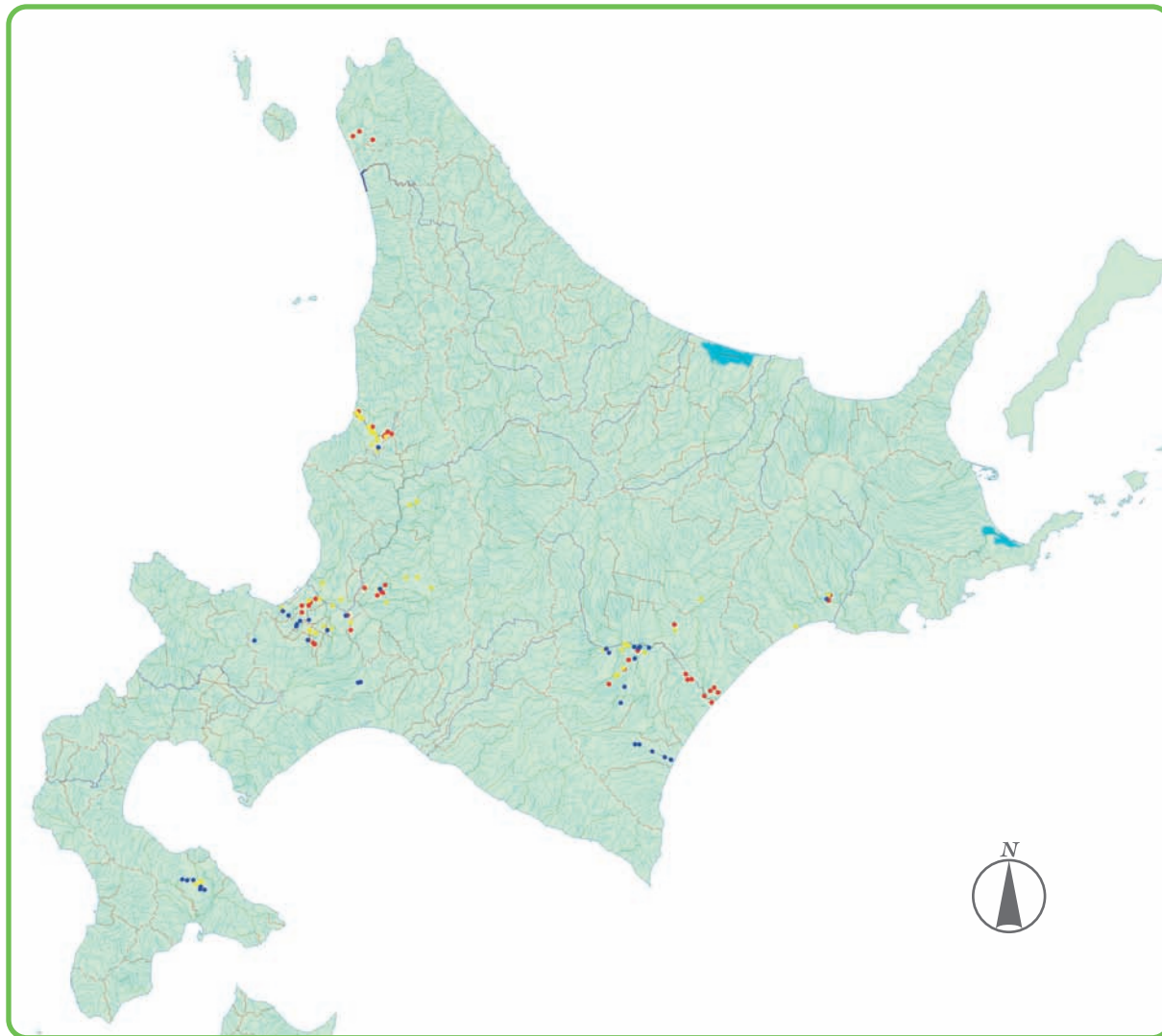
調査地点数と結果の推移



- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

IV 各ブロックでの調査結果

北海道地方

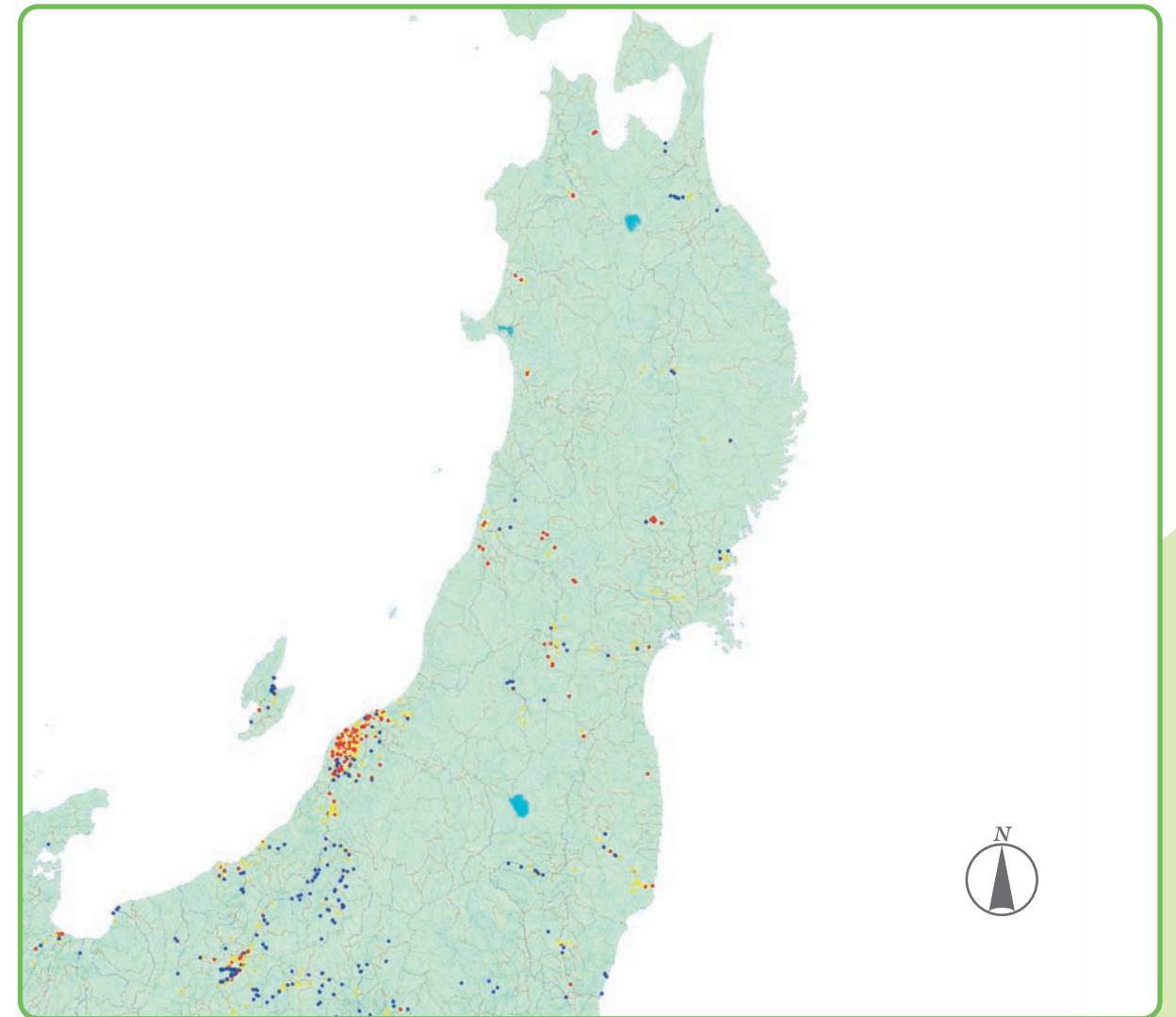


参加者からのコメント

- ・融雪水量多し、左岸汚れ気味。
- ・自然河川で調査地点より上流域は川幅1mほど。底質は砂礫、水深10～20cmと浅く、周辺からは湧水も流れ込んでいる。河畔林はハンノキ、ホザキシモツケ、ヤチダモ等を中心とした湿生林で釧路湿原国立公園内部へ流入し、湿原を育む大切な河川の一つである。
- ・調査地点の写真(右下)は、子どもが遊ぶには良い川です。



東北地方



- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上

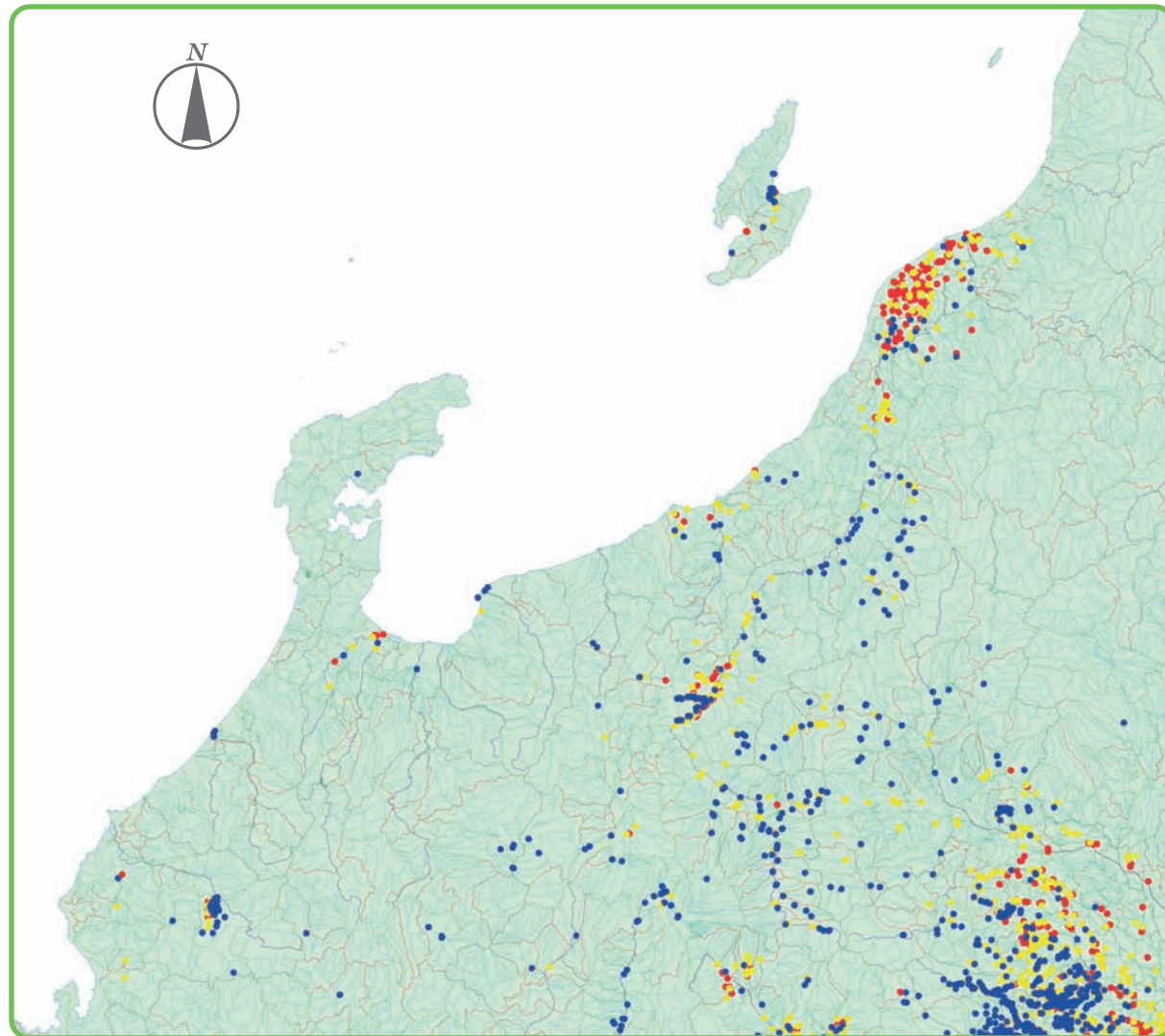
参加者からのコメント

- ・水の流れがある場所。水の流れる音が良く聞こえる。バーベキュー出来る場所、ゴミ少々あり。
- ・ホタル育てるための河川掃除、秋、春2回行っており、倒木撤去し、枝払いをしてホタルもみられ年々良くなっております。
- ・検査当日は前日からの雨で増水し、周辺状況確認できず。普段と比べると、目立つゴミ等が少なくなった。
- ・震災後、付近の湧水の水量が極端に減った。



IV 各ブロックでの調査結果

北陸地方

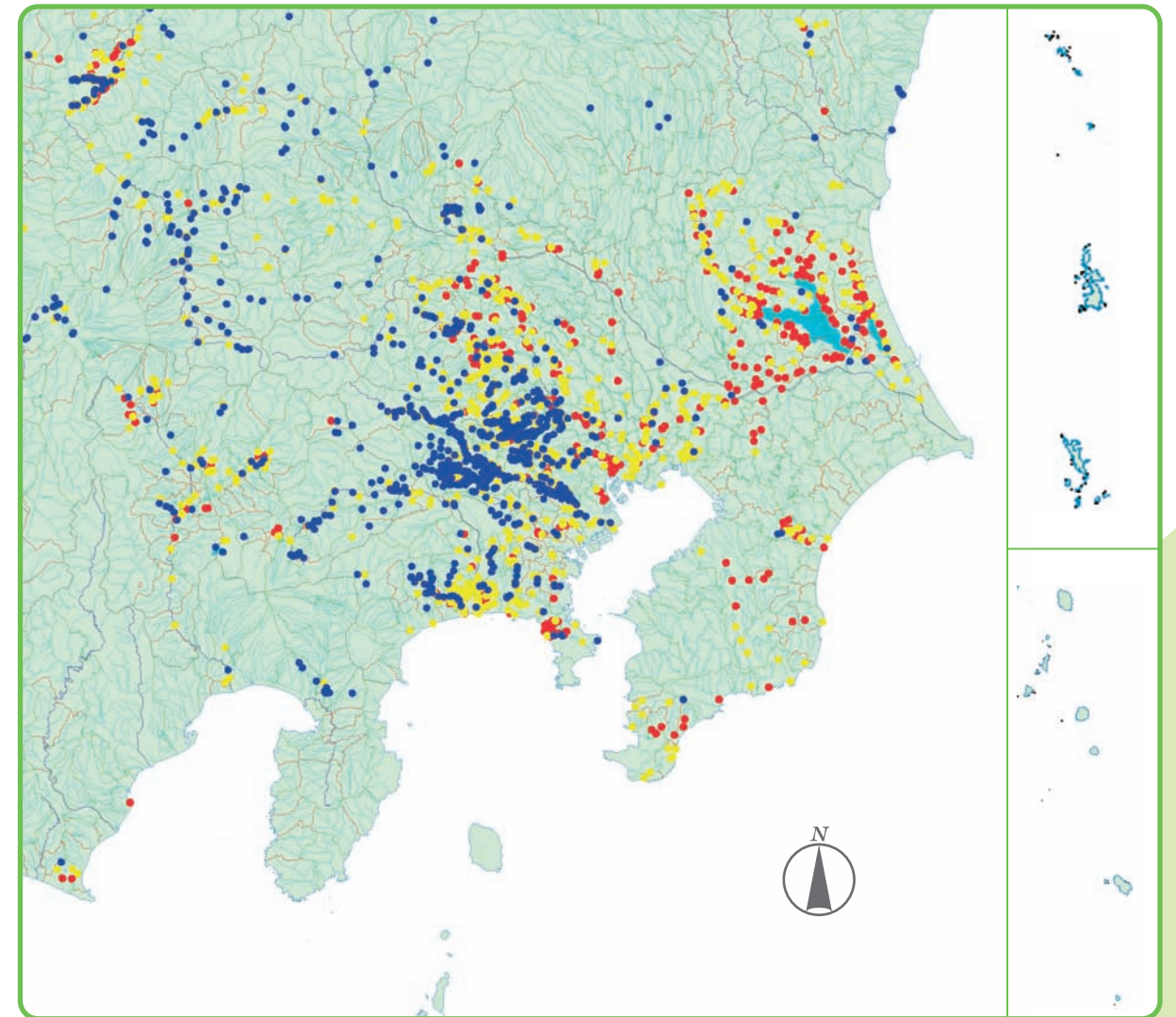


参加者からのコメント

- ・快晴日が続き河川水量は極めて少なかった。また、少ない河川水は極めてきれいであった。
- ・流量は多い。町なかを流れており、三面護岸されている。見た目はきれいに見える。
- ・橋脚部の死角にコンビニ弁当等のゴミ多い。
- ・ダム放流中のため水量多し。しかし、例年観察された天然アユの姿を、昨年同様に確認できなかった。



関東地方



- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上

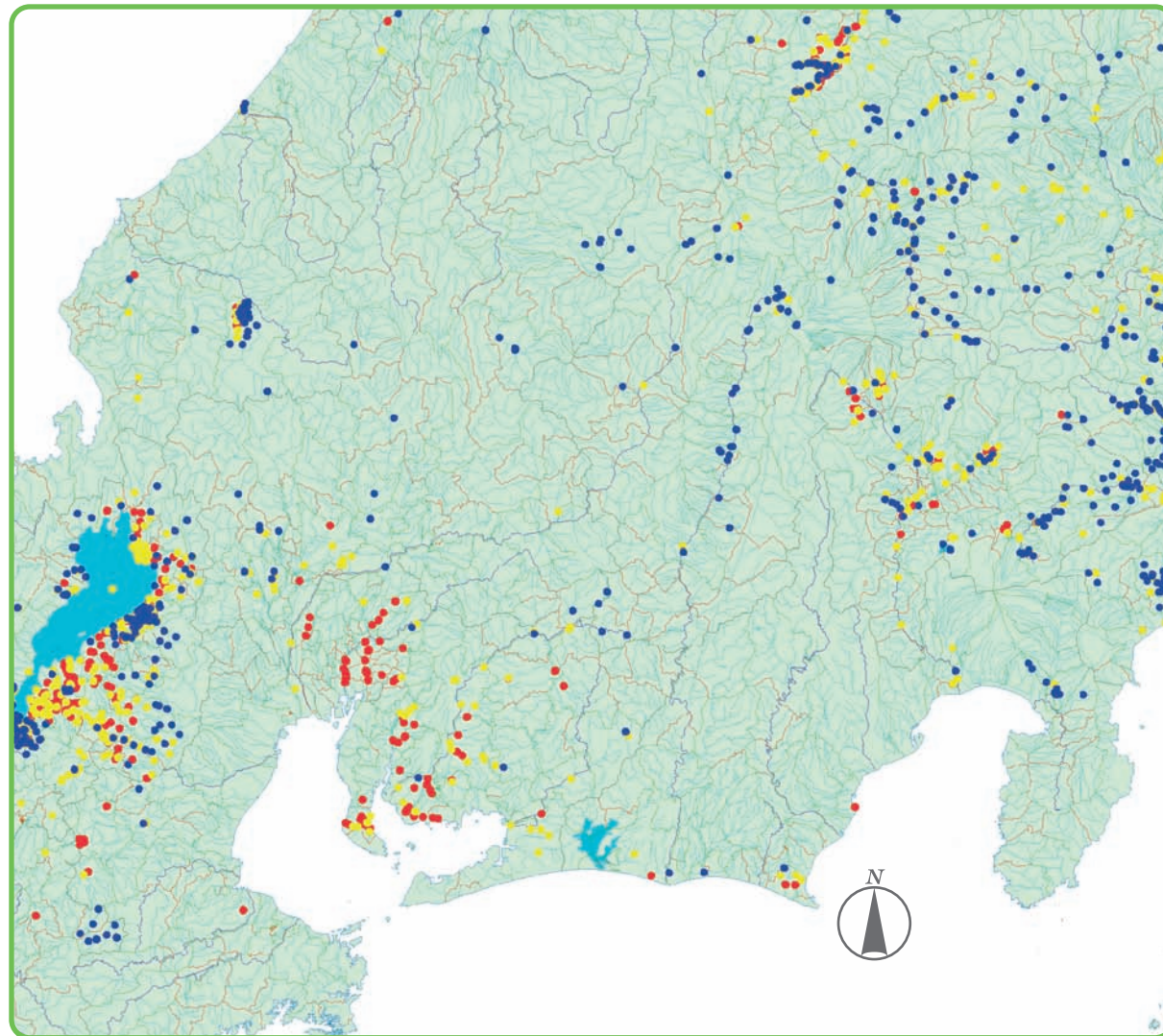
参加者からのコメント

- ・周辺にゴミが散乱していたので清掃を実施。
- ・湧水に近い状態で採水不可。ヘッピー川といわれ、途中で消えてしまう川だそうです。雨が続けていたのに不思議です。
- ・今年は大雨の影響で、その前後で大違いとなり、大変興味深いことでした。
- ・右岸処理場放流水が雨で希釈され、上流の川と水質変わらず。水位高く川に近づくのが大変でした。
- ・これほどCODが高いのは初めて。大雨によっていろいろなものが川に流れ込んだようだ。



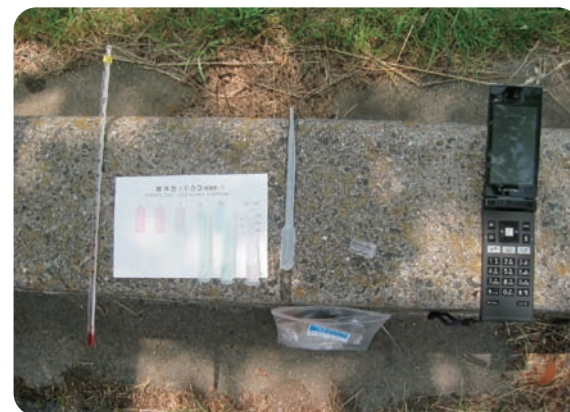
IV 各ブロックでの調査結果

中部地方

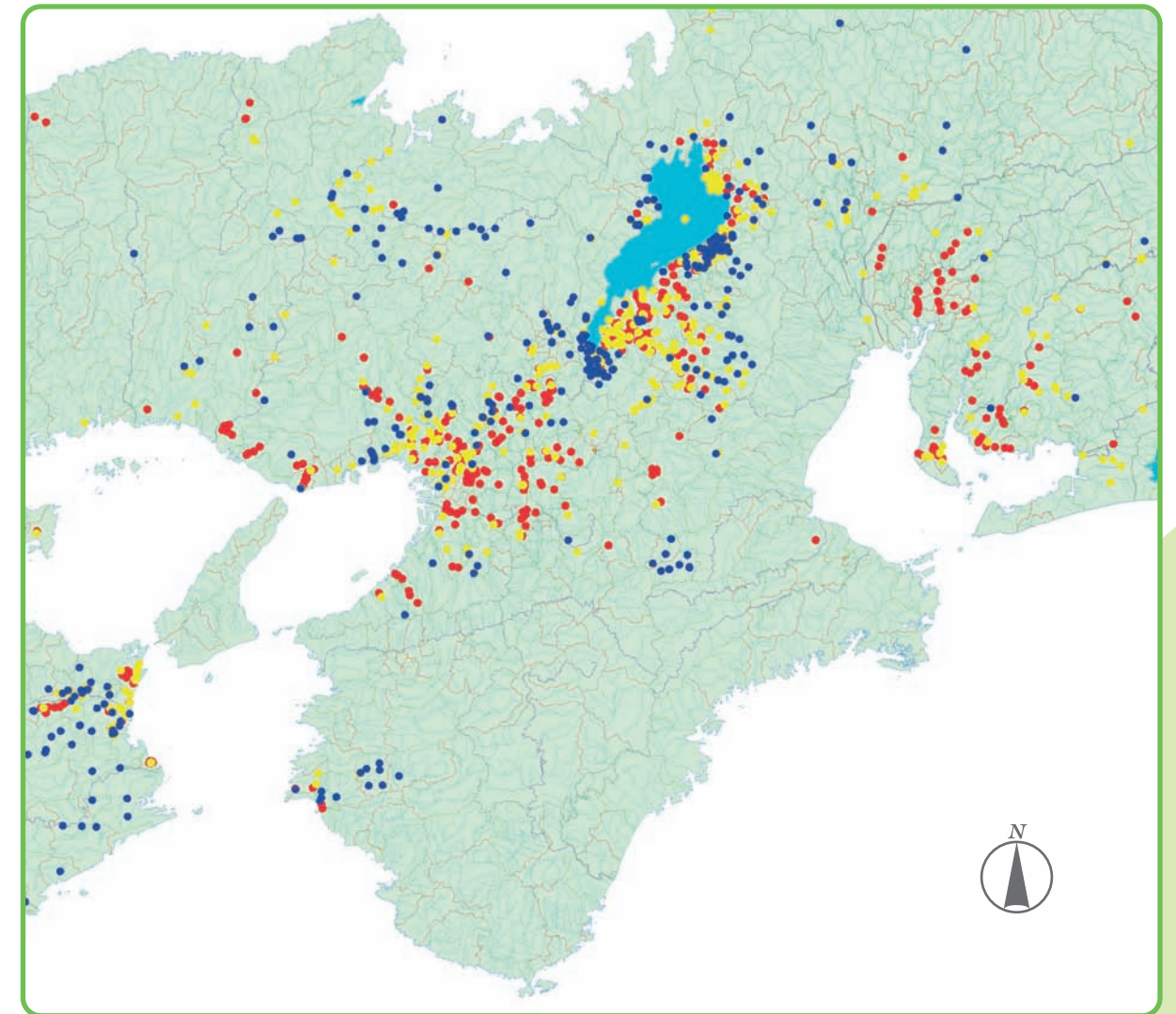


参加者からのコメント

- ・ 昨年は大きなゴミが河原に目立ちましたが、今年は空き缶やたばこの吸い殻が多く、子どもたちと一緒に拾いました。水は前日上流で雨が降っていたわりに濁りが少なく感じられました。
- ・ 10年前に比べヘドロ減少、CODや生き物はここ5年大きな変化なし。
- ・ 30年前はホタルが山の木に留まるとクリスマスツリーのようにみえるくらい多かったが、護岸工事でコンクリート壁になり、ここにはいなくなった。



近畿地方



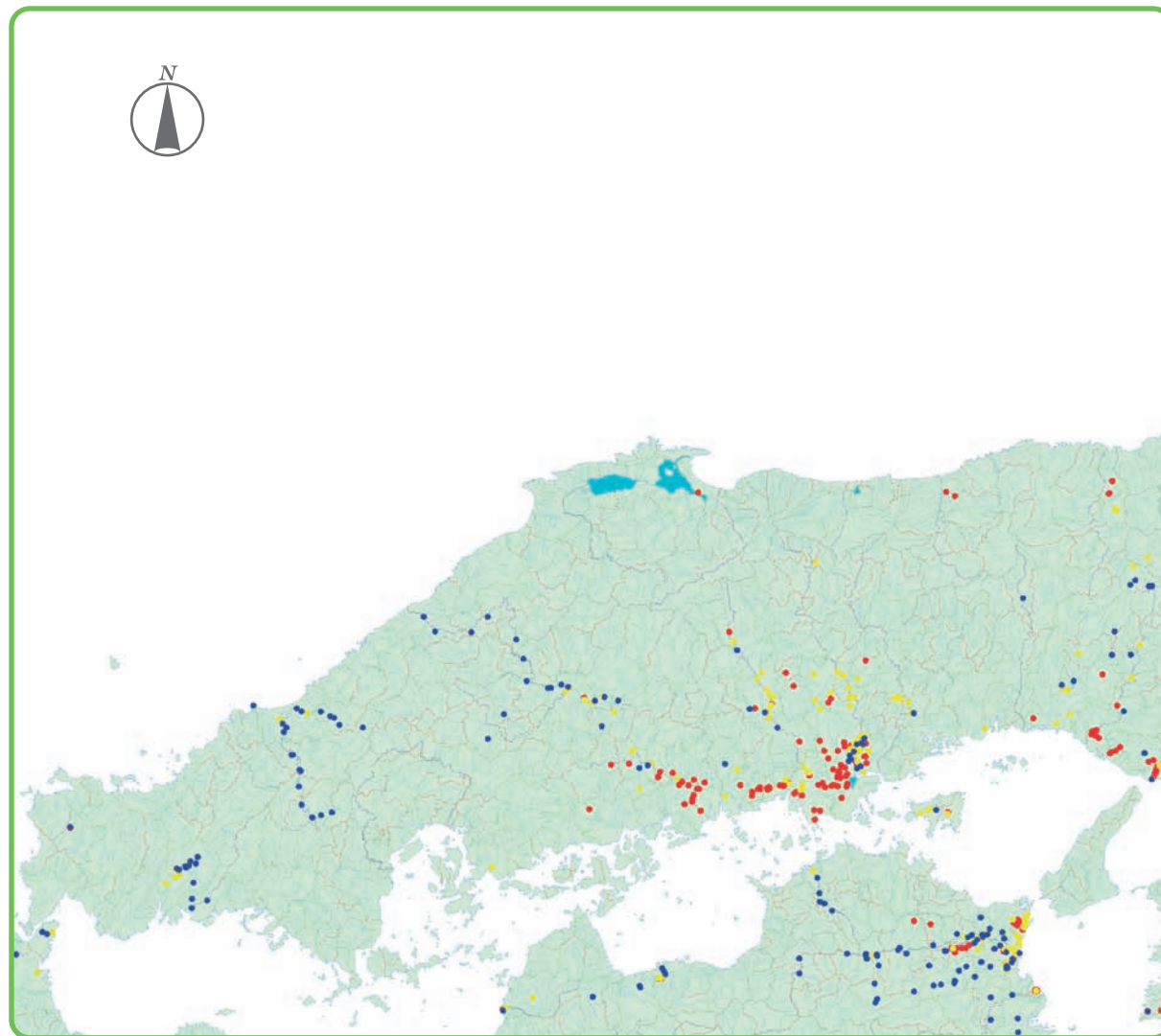
参加者からのコメント

- ・ 平成14年通水、人工河川が自然河川らしくなった。流水が少なく、橋上からバケツで汲みとるのに苦労した。調査地点から少し離れた所は背の高い草が生い茂っている。
- ・ 田植えの時期でしたが水は濁っていませんでした。コンクリート護岸で川は面白味がありません。
- ・ 流域の上流浄化センター直下であるためか水温が高く、泡が多く集積している。7年間の調査で最も水量が多いが、濁りも多い。
- ・ 生き物は見つけれなかったがいつもサワガニや小魚がいる川です。



IV 各ブロックでの調査結果

中国地方

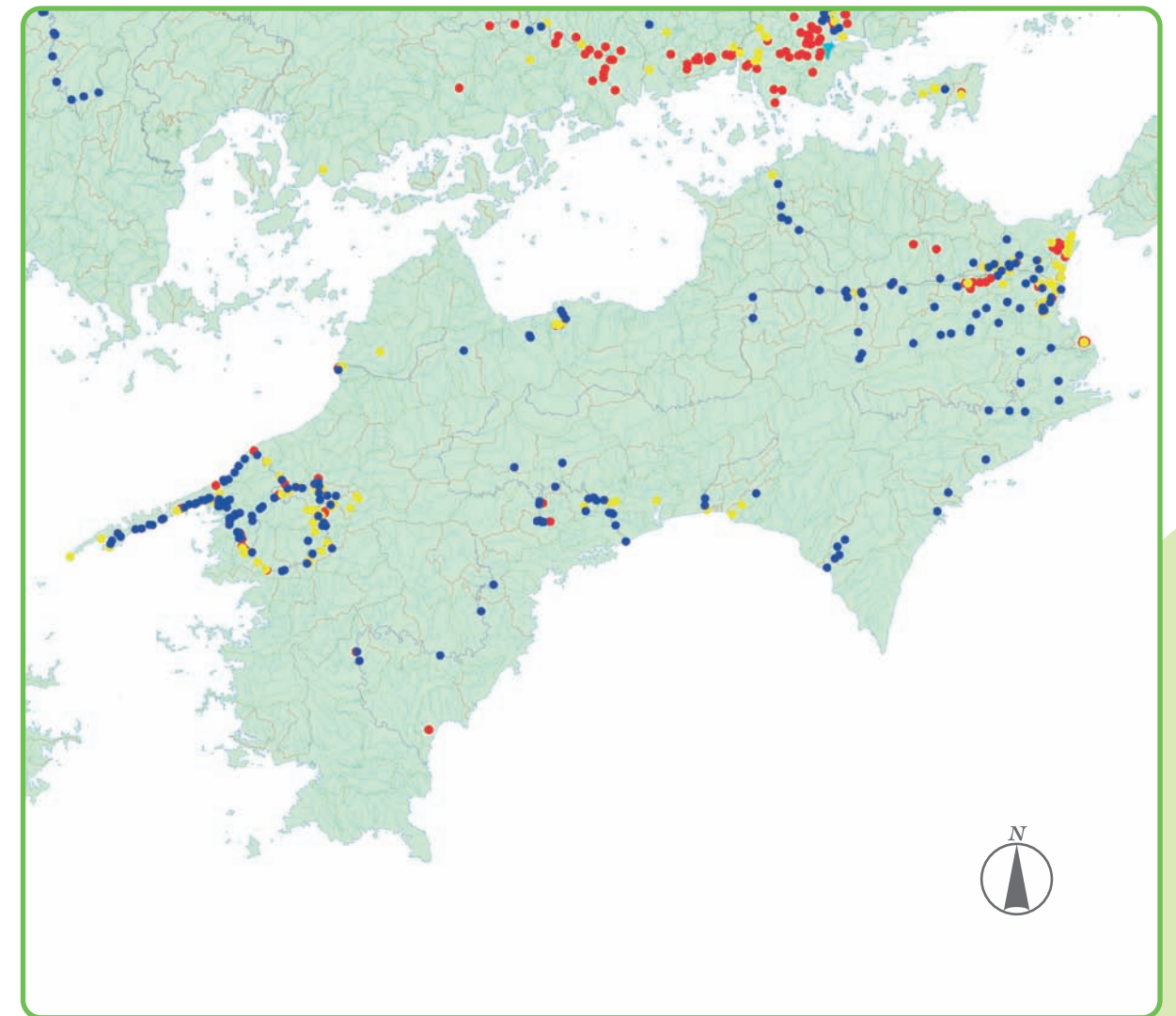


参加者からのコメント

- ・流れているが水量は少ない。ゴミ、藻が多い。
- ・河岸に草が茂り、中州にシラサギが営巣。
- ・散乱ごみは減少しているがまだまだ新しい缶やペットボトルが流れついてくる。
- ・数十年前の護岸工事前はゴミが多く水量も多かったが、工事後はゴミが少なく、下水道も整備されてきれいな川になった。



四国地方



- 凡 例
- COD 0～3mgO/L 未満
 - COD 3～6mgO/L 未満
 - COD 6mgO/L 以上

参加者からのコメント

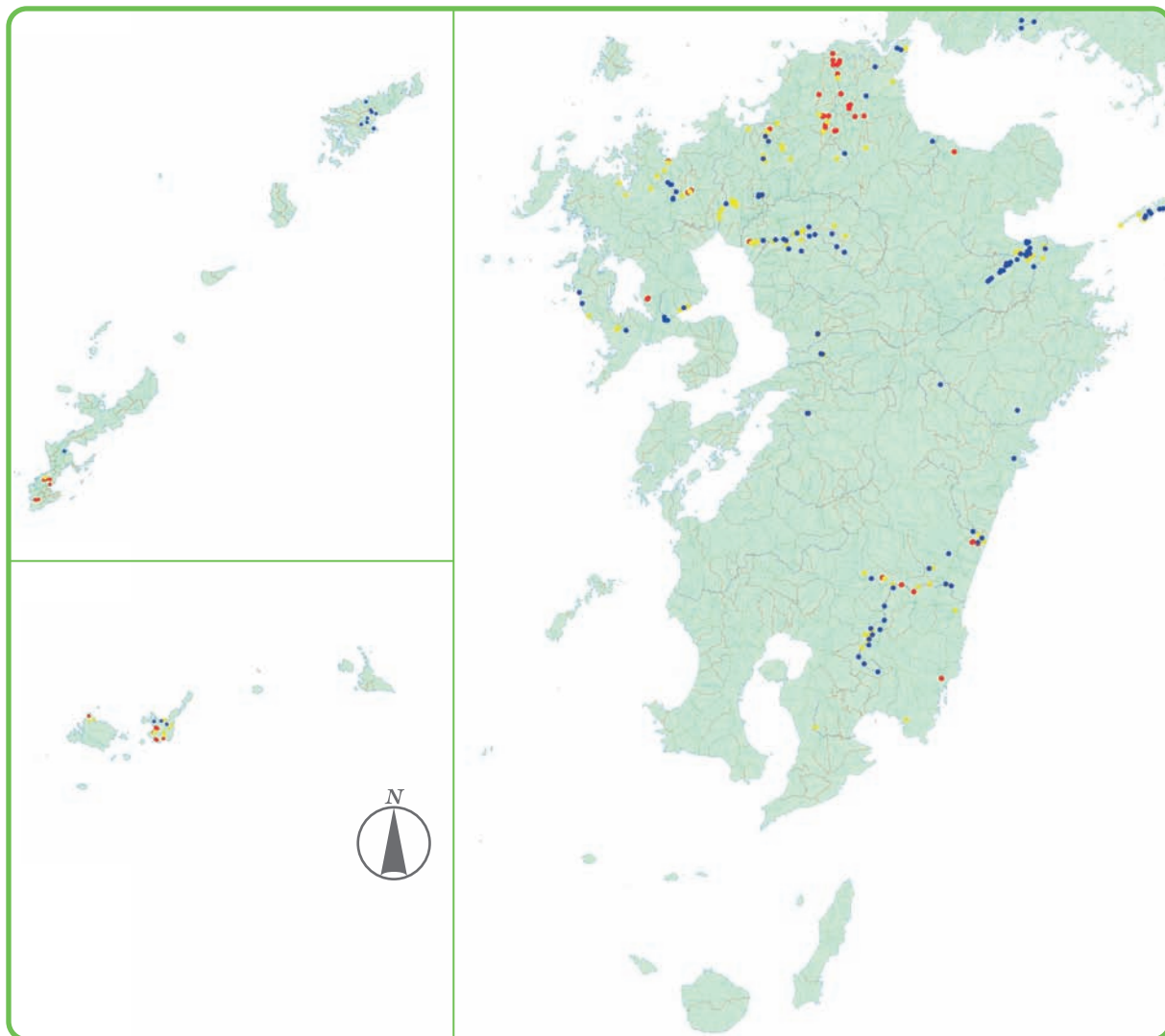
- ・幅100mの川。ゆっくり流れている。濁っていて底が見えない。孫2人連れの調査グループに出会う。
- ・農産物の洗浄や生活排水が流れ込んでいる。
- ・例年になく用水に水量が少なく、水質が悪かった。
- ・今年コンクリートの三面張りの水路になる予定。
- ・潮に濡れた流木はなかなか碎けず、川沿いに山積み。昔は浜で少しは焼けたが現在は不可。



IV 各ブロックでの調査結果

九州・沖縄地方

凡 例 ● COD 0～3mgO/L 未満
● COD 3～6mgO/L 未満
● COD 6mgO/L 以上



参加者からのコメント

- ・2012年7月の九州北部豪雨による護岸崩壊の復旧工事は、梅雨前に終了していた。川の流れはやや水量が少ないが、採水地の水の汚れなどは無かった。
- ・特記すべきことは、ゴミが非常に少なくなったことである。また調査地点では、コンクリート護岸にブロックがあり、そこに多くの稚魚が見られた。生物と共存できる河川改修をお願いします。
- ・水辺の楽校にせせらぎ水路を設置、今年2月に竹炭を設置して浄化作用を見ている。
- ・漂着ゴミが多い。橋の工事で地形が変わり、川の流れも変わり、奥の方は溜まりになっている。濁っていて泡も立っている。落葉も浮いている。海から海草が流れている。
- ・5・6年前からヒゲナガカワトビケラ(幼虫)が採取されなくなった。



V 一斉調査結果の活用事例紹介

新聞記事紹介

環境 土壌 水質 汚染

平成 26 年 (2014 年) 8 月 20 日付



下水道も市民、河川と「一層の連携を」。長年にわたり市民とともに水質測定などを通して、河川環境を良くしている東京農工大名誉教授の小倉紀雄氏は、「下水道・河川、市民活動のつながりの大切さを指摘する。下水道分野では、2年前から下水道広報プラットフォーム(GKKP)が発足し、啓発活動に注力。先月15日には、「新下水道ビジョン」が策定され、取り組むべき項目の一つとして「国民理解の促進とプレゼンスの向上」が挙げられたが、下水道では、啓発的な活動は始まったばかりだ。市民との連携を継続している小倉氏に下水道と市民活動とのあり方などを取材した。

身のきれいな水が汚れていく過程が分かりやすい多摩川支流の南浅川で水質調査を始めた。そうした中、84年には、合成洗剤を止めてせっけんを使って水をきれいにするよう活動していた「浅川地区環境を守る婦人会」と出会い、小倉氏の誘いで婦人会も一緒に勉強するようになった。意欲的な婦人会は、自分たちの手で水質調査を始めた。これが、市民活動と水質調査が連携した瞬間だ。その後、市民参加型の水質調査は多摩川流域を中心に広まり、04年には

小倉 紀雄 東京農工大・名誉教授

国民の理解促進へ…市民、河川との連携を

国土交通省などが主体となってきた全国的な「身近な水環境の全国一斉調査」が始まった。その全国一斉調査実行委員会の委員長に小倉氏が就任。以降、一斉調査は10年で延べ5万地点以上、延べ7万人以上が参加する一大イベントに成長した。調査では、有機物による汚濁を示す化学的酸素要求量(COD)を簡単に測定できるPACテストを採用。測定結果の精度を担保する工夫を加え、誰もが参加でき、精度も信頼できる活動へとつながった。

そんな小倉氏は、「河川の水質、流量の視察で下水道が果たす役割は大きい」と語る。小倉氏が調査を始めた浅川流域でも、全国一斉調査が開始された04年当時、下水道普及率は八王子市が93%、日野市が87%で、水のきれいな地点の割合は8%だった。これが、第9回の12年時点、下水道普及率が八王子市で100%、日野市で94%と伸び、水質もきれいな地点の割合が約3割に増えた。小倉氏は「下水道は、河川と市民活動のつながりについてはいなかったと示す。下水道では、地方自治体の財政状況やインフラの老朽化などの課題を踏まえ、下水道事業の持続的な運営を目指すため、新下水道ビジョンが策定され、「国民理解の促進とプレゼンスの向上」が推進すべき策の一つに挙げられている。今後、GKKPなどを通じて、市民活動と水質調査が連携するが、市民とともに長年、水質調査を続けてきた小倉氏の活動は大きな参考になるのではないだろうか。

身近な水環境調査「生みの親」が見る下水道

環境新聞2014年8月20日付より

V 一斉調査結果の活用事例紹介

活用事例

「千の風」が吹く大沼は、今、メタボです

北海道函館水産高等学校

連絡先 〒 049-0111 北海道北斗市七重浜 2-15-3
電 話 (0138) 49-2411 FAX (0138) 49-0168



1 はじめに

写真1 国定公園「大沼」

本校が「水環境の全国一斉調査」に参加するようになったのは、平成20年度に参加した「日本の環境を守る若武者育成塾」でした。みみネット事務局の方から「大沼の研究の中にCOD調査を加えませんか」という申し出がきっかけです。翌年から現在まで、本校の有志が大沼に出向いて調査しています。

2 北海道で最初の国定公園「大沼」の水質

大沼(写真1)は新井満氏の大ヒット曲「千の風」が作曲された場所として脚光を浴びていますが、一方で、水質の富栄養化が進み、アオコと呼ばれるプランクトンが増殖して(写真2)、魚類の斃死や水環境の悪化を引き起こしています。

3 大沼に流入する3つの河川水を調査

大沼には、宿野辺川・軍川・荻瀬川の3つの河川が注いでいます。本校はこれら3河川のそれぞれ上・中・下流の合計9点のCODを測定しています(写真3・写真4)。一番COD値が高い水が流れるのはどこかを知ることにより、富栄養化の原因を究明できのではないかと考えたからです。

結果は、河川水は毎年毎年新たな数値を示し、本校のように年1回のCOD調査では、河川の傾向をつかまえることは難しいということがわかりました。それでも、採水した水が泡立っていたり、濁りがあつたり、臭いがしたり、(これでは大沼の水は汚れるな)と五感でわかる時もありました。現地に行って初めてわかることがたくさんあり、教室では伝授できない教育がそこにはあります。

4 一斉調査活動が新たな活動をもたらす

大沼の水質改善の方策として森の保全が必要だということから、生徒たちは植林(写真5)や下刈り、間伐作業に取り組みました。そして、これら一連の活動が認められて、世界子ども水フォーラム仏大会に日本代表として参加したり、森の聞き書き甲子園に参加したりする生徒が輩出しています。継続は力。来年も参加いたします。そして、大沼の水質データを記録して、全国へ発信していきたいと考えています。



写真2 大沼のアオコ



写真3 荻瀬川上流(H22)



写真4 宿野辺川中流(H22)



写真5 荻瀬国有林での植樹(H22)

活用事例

全国一斉水質調査とプラスアルファのアクション

信州水環境マップ・ネットワーク

[<http://shinsyu-mizumap.midorinooka.net/>]

お問い合わせは事務局 〒 389-0206 北佐久郡御代田町御代田 2538-11
携帯 090-9801-6671 e-mail: ecolabo@f4.dion.ne.jp

長野県は日本列島のほぼ中心に位置し、八つの県に囲まれた海なし県です。日本百名山のうちの28座を水源とする河川は日本海と太平洋に流れ下り、地形的にも大きく異なります。行政管轄区域も北陸・中部・関東地方整備局の三地整に分けられています。このように、同じ県内にある河川とはいえ、気候、文化、社会にも大きな差異があるのが長野県水環境の特徴です。

本ネットワークは、そのような地域差のある県内各地で活動されている水質調査グループを一つにまとめ、調査地点や参加者を増やすことと、現在の調査結果を後世に残すことを目的にホームページを立ち上げ、県内各地の環境フェアなどで公開し、同時に、パックテスト体験を実施しております。(写真1)



写真1

私たち団塊世代以前の者は、身近な山や川が遊び場であり、学習の場でもありました。しかし、生活様式の変化によって、環境フェアに来場する程に意識の高い河川流域の皆さんですら、近くを流れる河川の環境変化について、あまり実感することなくなっています。



写真2



写真3



写真4

今年の春、佐久市立切原小学校六年生(21名)の総合授業の一環で、学校周辺の湧水の水質についてお話する機会がありました。現地で採取した湧水を使って、ひとりひとりパックテストを体験してもらい、最後に千曲川、犀川流域には、ダムが出来る前の約80年前までは鮭が上っていたこと、また、昨年12月に「新潟水辺の会」から鮭の発眼卵を分けただけ、自宅で孵化させて、今年3月に稚魚を放流した話をしました。そして、またいつか千曲川に鮭が上ってくるといいね。と締めくくりました。(写真2、3、4)

後日、この生徒さん全員からお手紙を頂きました。小学校最後の記念に、皆で鮭の稚魚を育てて、千曲川に放流することを校長先生に直談判して、許可を頂いた、とのことでした。嬉しいと同時に、次世代を担う皆さんによる、毎年の恒例行事として継続されることを願わずには居られませんでした。

また、「長野市水環境研究サークル」の大洞盛胤さんも、長野市周辺での鮭の産卵場について、各地の古い資料を調べたり、今の川の現状を調査すると共に、鮭文化復活を図っています(写真5)。新潟水辺の会の加藤功さんによると、今年も県境まで192尾(10/05現在)の鮭の遡上が確認されています。

年に一度の全国一斉水質調査ですが、プラスアルファとして、水生昆虫や沢蟹、ホタルや鮭の回帰など、子どもたちとの面白い観察や出会いが出来ることにも意義があると思っています。



写真5

VI

継続調査参加団体

皆勤賞

11年参加(結果提出)団体 (合計87団体)

北海道	NPO法人十勝多自然ネット	埼玉県	環境白門会	東京都	個人参加	福井県	大野の水環境ネットワーク
宮城県	NPO法人宮城県河川環境研究会	埼玉県	和光自然環境を守る会	東京都	グループひの消連	山梨県	Yamanashiみずネット
山形県	美しい山形・最上川フォーラム	東京都	川づくり清瀬の会	東京都	八王子西南地区環境市民会議	山梨県	甲府市宝二丁目第三自治会
茨城県	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	埼玉県	生活クラブ生協所沢南支部	東京都	東京都山岳連盟自然保護委員会	山梨県	大泉・水と緑を守る会
茨城県	石岡市	埼玉県	NPO法人 エコシティ志木	東京都	東京NPO-21研究所	山梨県	風間・瀬澤グループ
茨城県	牛久市	埼玉県	地域の自然を考える会	東京都	エコネット町田	山梨県	メダカクラブ
茨城県	つくば市	東京都	白子川源流・水辺の会	東京都	はむら水と緑の会	長野県	諏訪湖クラブ
茨城県	鹿嶋市	埼玉県	生活クラブ生協所沢東支部	東京都	環境・国際研究会	岐阜県	NPO法人長良川環境レジャー協会
茨城県	かすがうら市	埼玉県	埼玉西部・土と水と空気を守る会	東京都	玉川上水ネット	静岡県	三島ゆうすい会
茨城県	茨城町家庭排水協議会	東京都	西東京生活者ネットワーク	東京都	府中かんきょう市民の会	静岡県	浜岡自然愛好会
茨城県	小美玉市	東京都	自由学園	東京都	あおばく・川を楽しむ会	愛知県	庄内川松並木づくり隊
茨城県	笠間市岩間支所地域課	東京都	明法中学高等学校 科学部	東京都	AMR	愛知県	大山川を愛する市民の会
茨城県	銚田市	埼玉県	東川を愛する会	東京都	東京環境工科専門学校 増穂班・増穂西小	滋賀県	認定NPO法人びわこ豊稜の郷
茨城県	神栖市	埼玉県	NPO法人 荒川流域ネットワーク	東京都	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	京都府	相楽環境委員会
茨城県	行方市	東京都	浅川流域市民フォーラム	東京都	足立区荒川ビジターセンター	大阪府	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
茨城県	美浦村	東京都	八王子ランドマーク研究会	東京都	林・宮島ファミリーズ	岡山県	旭川流域ネットワ
茨城県	河内町	東京都	八王子中央地区環境市民会議	東京都	いたばし野鳥クラブ	山口県	山口市立白石中学校
茨城県	利根町	東京都	谷地川探検隊	東京都	北区水辺の会	徳島県	ガールスカウト徳島第9団
埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会	東京都	日野市環境共生部 緑と清流課	東京都	国分寺みずっこクラブ	徳島県	ガールスカウト徳島第7団
埼玉県	武蔵村山市環境を考える市民の会	東京都	八王子市東南部環境市民会議	神奈川県	まちはアートの会	高知県	NPO法人仁淀川お宝探偵団
東京都	東久留米ホテルを呼ぶもどす会	東京都	程久保川を考える会	神奈川県	鶴見川・水質チーム	沖縄県	リュウキュウアユを蘇生させる会
埼玉県	新座の自然と暮らしを守る市民の会	東京都	八王子市北部環境保全推進地区市民議	新潟県	NPO法人新潟水辺の会		

5年以上の参加団体 (今年度参加をした上記以外の団体)

北海道	帯広稲田冒険遊びの会	東京都	NPO法人 空堀川に清流を取り戻す会	千葉県	NPO法人南外房環境クラブ	神奈川県	大蔵児童館 こどもエコクラブ	長野県	千曲川水生昆虫研究会
北海道	留萌川を楽しむ会	埼玉県	荒川流域ネットワーク	東京都	多摩市水辺の楽校	神奈川県	NPO法人こどもエコクラブ	長野県	飯水自然調査研究委員会
北海道	たきかわ環境フォーラム	埼玉県	奥瀬川をきれいにする会	東京都	浅川潤地水辺の楽校	新潟県	NPO法人ねっとわーく福島島	長野県	軽井沢水楽会
北海道	こどもエコクラブ(しろ JEC	東京都	空堀川を考える会 AEG	東京都	夕焼け小焼けエコミュージアム	新潟県	日本ボーイスカウト連盟 新潟第16団	長野県	湯川 水の会
北海道	和光技研株式会社	東京都	西東京の自然を見つめる会	東京都	Kie&Koki	新潟県	長岡技術科学大学 資源エネルギー環境研究室	長野県	エコラボ クラブ
北海道	札幌市豊平川さけ科館	東京都	北多摩自然環境連絡会	東京都	(株)SRI通信子・染色体解析センター	新潟県	NPO法人関川水辺クラブ	長野県	長野市水環境研究サークル
北海道	ザロベツ体験隊	埼玉県	黒目川に親しむ会	東京都	高尾・澗川の自然を守る会	新潟県	新潟県ビオトープ管理士会	長野県	グリーンヒル友の会
北海道	瀬舟川の清流を守る会	埼玉県	ふしじ環境クラブ	東京都	八王子市西部地区環境市民会議	新潟県	こどもエコクラブ おいちゃんもいっしょに JEC	長野県	水環境チーム
北海道	機春別川をよくする市民の会	東京都	生活クラブ生協朝霞支部	東京都	八王子市東部地区環境市民会議	新潟県	新潟市民大講座	岐阜県	水門川いっしょにプロジェクト
北海道	利根別川をきれいにする市民の会	埼玉県	あさひ環境市民会議	東京都	NPO法人環境活動センター八王子	新潟県	特定非営利活動法人加治川ネット21	岐阜県	NPO法人緑の小堤200滝
北海道	NPO法人三笠森水遊学舎	埼玉県	NPO法人 和光・緑と湧き水の会	東京都	都立日野高校	新潟県	潟上水辺の会	岐阜県	NPO法人いびがわミズミズエコステーション
北海道	十勝川のシャモをを守る会	東京都	八幡町川クラブ	東京都	日野の自然を守る会	新潟県	樽川を守る会	岐阜県	NPO法人たからのやま久瀬
北海道	函館水産高校	埼玉県	三貫清水の会	東京都	せたがや野川の会	新潟県	新潟県西蒲原土地改良会	静岡県	ガールスカウト静岡第24団
青森県	HEP21エコクラブ JEC	埼玉県	西川稻美	東京都	一般社団法人 全国上下水道コンサルタント協会	新潟県	小阿賀未来の会	静岡県	ガールスカウト静岡県第19団
青森県	奥入瀬川クリーン対策協議会	埼玉県	鴻巣の環境を考える会	東京都	堀生水辺の楽校運営協議会	新潟県	日本ボーイスカウト新潟連盟 黒埼第一団	静岡県	竜澤テニスボーイズ少年団
岩手県	NPO法人わらしやんとしずくせい 聖石児童館	埼玉県	霞川(らし)の楽校	東京都	あさひ水辺の楽校	新潟県	越後川まちおこしの会	愛知県	NPO法人 環境研究所豊明
岩手県	大深沢水園委員会	埼玉県	江戸川大学	東京都	井の頭・神田川を守る会	新潟県	朱鷺が夢見る水辺を考える会	愛知県	あしよろぶ JEC
岩手県	盛岡世代にける橋	埼玉県	さいたま川の博物館ボランティアの会	東京都	神田川ネットワーク	新潟県	新発田川を愛する会	愛知県	天白・川辺の楽校
宮城県	仙台リバーズネットワーク	埼玉県	もりさんど	東京都	緑川を豊かに環境にする会	新潟県	西川を創る会	愛知県	たぐら子どもエコクラブ
宮城県	マツクサリ川東北秋田イオンテアーズクラブ	埼玉県	さいたま市リバーキーパーズ	東京都	NPO法人むすオアース市川による自然共生/レニア	新潟県	上越市市民環境プロジェクト	愛知県	朝倉川青水フォーラム
秋田県	能代市こども環境探偵団	埼玉県	高麗川ふるとの会	東京都	江戸川生活者ネットワーク	新潟県	エコクラブ サンダーバード	愛知県	小さいエコ家庭 JEC
山形県	山辺町農村環境保全指導員	埼玉県	生活クラブ生活協賛山支部	東京都	荒川川と生活を楽しむ会	新潟県	元瓦マン	愛知県	鯉川・堀川と生活を考える会
山形県	心のふるさと新井田川の会	埼玉県	生活クラブ生協日高支部	東京都	川口市立西中学校科学技術部	富山県	小矢部川に学ぶ会	愛知県	武豊町 環境課
福島県	夢はたるこおり	埼玉県	自然を守る狭山リサイクルの会	東京都	下平井水辺の楽校	富山県	みずはく地域芸術員	愛知県	河和学区河川環境対策委員会
福島県	西郷くらの会	埼玉県	かわくえ環境ネット	東京都	柏江水辺の楽校	石川県	穴水町児童館	愛知県	矢作川環境技術研究会
福島県	白河くらの会	埼玉県	夢て会	東京都	江東自転車エカライフの会	石川県	「美川自然クラブ」	三重県	レゼム・ふしぎ・ワンダラランドこどもエコクラブ JEC
福島県	夏井川流域の会	埼玉県	市野川エコクラブ	東京都	給江市環境を考える会	山梨県	若月ファミリー	滋賀県	NPO法人 渚生野考倶楽部
茨城県	国土交通省 霞ヶ浦河川事務所	埼玉県	荒川の自然を守る会	東京都	身近な川の一斉調査実行委員会	山梨県	美鈴愛好会	滋賀県	NPO法人瀬田川リバーパレ隊
茨城県	霞ヶ浦市家庭排水浄化推進協議会	埼玉県	秩父の環境を考える会	東京都	アーサークラブ	山梨県	まちづくり時習塾	滋賀県	野洲川に親しむ会
茨城県	潮来市	埼玉県	鶴ヶ島の自然を守る会	東京都	FAMS	山梨県	富士川ファンクラブ・市川大門地区	滋賀県	湖南流域環境保全協議会
茨城県	稲敷市	埼玉県	立正大学地球環境科学部	東京都	美しい多摩川フォーラム	山梨県	富士川ファンクラブ・南部地区	滋賀県	草津塾
茨城県	茨西市	埼玉県	熊谷の環境を考える連絡協議会	東京都	青梅・多摩川水辺のフォーラム	山梨県	富士川ファンクラブ・六郷地区	滋賀県	栗東市役所生活環境課
茨城県	阿見町水質監視員	埼玉県	緑川をきれいにする会	東京都	法政大学水文地理学研究室	山梨県	富士川ファンクラブ・身延地区	滋賀県	(株)グリーン・チャイプ
茨城県	桜川市	埼玉県	NPO法人西川本家会	東京都	NPO法人堀川緑のルネッサンス	山梨県	みずネット・おもかわ	滋賀県	NPO法人環境を考える会
茨城県	土浦市	埼玉県	生活クラブ生協葛尾支部	東京都	バックストレスト共の会	山梨県	宮田ファミリー	滋賀県	滋賀県南部環境事務所
茨城県	茨城県立日立第一高等学校・附属中学校	埼玉県	東洋大学	神奈川県	桂川・相模川流域協議会	山梨県	松田(信)グループ	滋賀県	琵琶湖ネット草津
茨城県	みどりの会	埼玉県	鳥野・水と緑の会	神奈川県	早瀬川ファンクラブ	山梨県	みずまし	滋賀県	宮町子ども会
茨城県	ヤッポーおひさまクラブ JEC	埼玉県	小峠の会	神奈川県	二ヶ領用水ウォッシュアップ・フォーラム	山梨県	富士川ファンクラブ・増穂地区	滋賀県	琵琶湖の水と地域の環境を守る会
茨城県	大子くらの会	埼玉県	さきま環境市民ネットワーク	神奈川県	国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所	山梨県	小松ファミリー	滋賀県	鹿深の里 甲賀流域環境保全協議会
茨城県	茨城県山岳連盟自然保護委員会	埼玉県	白岡町観光協会水辺の楽校	神奈川県	まいおか水と緑の会	山梨県	八ヶ岳野鳥クラブ	滋賀県	野洲川を愛する会
群馬県	城沼を考える市民会議	埼玉県	NPOとよみ環境フォーラム	東京都	天王森島公園 自然観察グループ	山梨県	計画課チーム	滋賀県	茶室川を美しくする会
群馬県	川と親しむ会	埼玉県	鶴ヶ島市と広谷児童館 こどもエコクラブ JEC	神奈川県	横浜青弘研 JEC	山梨県	富士川ファンクラブ・鵜沢地区	滋賀県	イワタランドとづくりの会
群馬県	NPO法人新田環境みらいの会	埼玉県	小川町児童館 JEC	神奈川県	神奈川県山岳連盟自然保護委員会	山梨県	富士川ファンクラブ・中富地区	滋賀県	流湯めだかの学校
東京都	北川かつばの会	千葉県	カヌークラブかわせみ	神奈川県	NPO環境ファミリー楽山	山梨県	富士川ファンクラブ・三珠地区	滋賀県	ワイワイお祭りクラブ
埼玉県	白子川と流域の水環境をよくする会	千葉県	環境会議会とおみしらさと21	神奈川県	NPO法人 藤沢グリーンスタッフの会	山梨県	山田ファミリー	滋賀県	水口エコライフの会
東京都	東久留米ほとけじょうを守る会	千葉県	たんぼぼ JEC	神奈川県	大岡川流域まちかわ衆	山梨県	関ファミリー	滋賀県	信楽の川自然愛護の会
東京都	かわくえ環境ネット 新河岸川水系グループ	千葉県	自然観察やまほし JEC	山梨県	水辺愛護会 稚子川はふるさと川の会	滋賀県	甲南高校 バイオとかがく系列		
埼玉県	生活クラブ生協秩父支部	千葉県	ぬくぬくエコクラブ JEC	神奈川県	辻堂びせろクラブ	山梨県	生活クラブ生活協同組合(山梨)	滋賀県	甲南ボランティアグループ

5年以上の参加団体 (今年度参加をした上記以外の団体)									
滋賀県	甲賀女性風土づくりグループ	滋賀県	長浜市立七尾小学校	兵庫県	NPO法人北はりま田園空間博物館	愛媛県	愛媛県立宇佐高等学校・宇佐高等学校環境部プロジェクトチーム	佐賀県	(株)ワイビーエム
滋賀県	滋賀県企業庁水口浄水場	滋賀県	長浜北小学校	兵庫県	六方めだか公園	愛媛県	パナソニック ヘルスケア労働組合	佐賀県	NPO法人技術交流フォーラム
滋賀県	東近江環境保全ネットワーク	滋賀県	長浜南小学校	兵庫県	武庫川つくりと流域連携を進める会	高知県	こみのない物部川をつくる連絡会	佐賀県	松浦川を親しむ会
滋賀県	八幡郷を守る会	滋賀県	長浜市びわ北小学校	兵庫県	瀬水すつきやぬいクラブ	高知県	公益財団法人四万十川財団	佐賀県	大塚製薬株式会社佐賀工場
滋賀県	東近江水環境自治協議会	滋賀県	長浜市びわ南小学校	兵庫県	白旗中学校・高等学校 生物部	高知県	鏡川下流の貝を育てる会	長崎県	本明市オビニオン懇談会
滋賀県	環境フォーラム湖東	滋賀県	長浜市立田根小学校	奈良県	塩じー	高知県	日高の川を美しくする会	長崎県	リールグリーンクラブ2 JEC
滋賀県	彦根市環境保全指導員連絡会議	滋賀県	合戸地区農村環境委員会 JEC	和歌山県	日高川町水道協会	高知県	佐川町立尾川中学校	長崎県	NPO法人長崎ビーチーサービス SFJ
滋賀県	愛のまちエコライフ	滋賀県	淡海ネットワークセンター	和歌山県	御坊市管工事業協同組合	高知県	横倉山自然の森博物館友の会	長崎県	地縁団体楽田町内会
滋賀県	鶴と雀の里づくりグループ	滋賀県	BYOSグリーンネットワーク	鳥取県	米子水島公園友の会ふれんジャークラブ	福岡県	水の会	熊本県	里山クラブ どんころす
滋賀県	柳川を愛する会	京都府	本津川市こどもエコクラブ JEC	鳥取県	どんぐりエコキッズ	福岡県	なかがわの環境を考える会	大分県	ボランティア みちの会
滋賀県	鹿川を楽しむ会	京都府	南京緑児童館自然探検隊2004	鳥取県	NPO法人アンテンテ21	福岡県	八女水の会	宮崎県	NPO法人大淀川流域ネットワーク
滋賀県	日野川を見守る会	京都府	白川源流と緑水を楽しむ会	岡山県	児島湖流域エコクラブ	福岡県	堀川再生の会・五平太	宮崎県	高嶺自然愛好会
滋賀県	人と自然を守る会	大阪府	アケアフレンズ	岡山県	さとしょうエコクラブ JEC	福岡県	川を渡る会	鹿児島県	おおすみ自然環境フォーラム
滋賀県	滋賀大学環境学習支援士の会	大阪府	ガールスカウト大阪府第21団	岡山県	エコライフたかはし	福岡県	NPO法人遠賀川流域住民の会	沖縄県	西表ヤマネクラブ JEC
滋賀県	大津市河川愛護団体連合	大阪府	おおさかバドコープ 大阪まちづくり連絡会	岡山県	フジみどりの少年隊 JEC	福岡県	遠賀川源流の森づくり推進会議	沖縄県	石垣島エコツーリズム協会
滋賀県	膳所南部の川を美しくする会	大阪府	ガールスカウト日本連盟大阪府第76団	広島県	芦田川環境マネジメントセンター	福岡県	穂波川を愛する会	沖縄県	報得川と美海の会
滋賀県	谷田川を美しくする会	大阪府	狭山池まつり実行委員会 水質改善部会	山口県	水の自遊人 しんすいせんたい アカサ隊	福岡県	田川ふるさと川づくり交流会	沖縄県	アンパルの自然を守る会
滋賀県	天神川を美しくする会	大阪府	大和川市民ネットワーク	徳島県	地蔵橋駅前町内会環境委員会	福岡県	ひこさんがわ夢の会		
滋賀県	三田川をきれいにする会	大阪府	CFKお魚の会	徳島県	大松川チークラブ	福岡県	遠賀川川下り大会実行委員		
滋賀県	遠坂の川を愛する会	奈良県	特定非営利活動法人「関西環境とインフラを考える会」	徳島県	NPO法人 宮川内谷川を良くする会	福岡県	響みどりの会		
滋賀県	多羅川を愛する会	大阪府	NPO法人大阪府環境協会	徳島県	水土里ネット 芳崎	福岡県	龍王・山里川の会		
滋賀県	相模川を美しくする会	兵庫県	佳吉川で遊ぶ会 AEG	徳島県	年&和・美しい江川復活	佐賀県	(株)ミソタ		
滋賀県	長浜市びわ水環境を守る生活推進協議会	兵庫県	日本武道玉谷道場スポーツ少年団 JEC	香川県	まんのう野営場	佐賀県	藤野ふるさと会		
滋賀県	長浜市水生生物少女少女調査隊	兵庫県	丹波佐治川自然の会	香川県	土器川生物研究会	佐賀県	自然と暮らしを考える研究会		
滋賀県	北郷里調査隊	兵庫県	水環境ネット出石	愛媛県	NPO法人かわろす復活プロジェクト	佐賀県	かつば連絡邦美和		

※個人の参加者は29名

VII

全国水環境マップ
実行委員会名簿

この全国水環境一斉調査を実施するにあたり、全国各地の方々からなる「全国水環境マップ実行委員会」を2004年に設置しました。

実行委員

氏 名	役 割	団 体 名	都道府県	T E L	E - mail
小倉 紀雄	実行委員長	みずとみどり研究会	東京都	042-327-3169	mizutomidoriken@ybb.ne.jp
野村 直也	実行委員	NPO 法人十勝多自然ネット	北海道	0155-22-7511	nomura_n@arc-corporation.co.jp
金子 博	実行委員	NPO 法人パートナーシップオフィス	山形県	0234-26-2381	npo-po@nifty.com
沼澤 篤	実行委員	一般社団法人霞ヶ浦市民協会	茨城県	029-821-0552	kca@cg.mbn.or.jp
渡邊 勇	実行委員	NPO 法人荒川流域ネットワーク	埼玉県	0428-31-7978	nabe123@tbz.t-com.ne.jp
大野 和広	実行委員	新河岸川水系水環境連絡会	埼玉県	048-466-0916	y.fujii@guitar.ocn.ne.jp
倉 宗司	実行委員	身近な川の一斉調査実行委員会	東京都	042-562-8863	sakoganeikura@yahoo.co.jp
諏訪 祥子	実行委員	浅川流域市民フォーラム	東京都	042-621-1779	CBB00853@nifty.com
佐藤 正兵	実行委員	NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都	03-3654-7240	renraku@cleanaid.jp
風間ふたば	実行委員	Yamanashi みずネット	山梨県	055-220-8193	kagerou@ymizunet.org
沖野外輝夫	実行委員	諏訪湖クラブ	長野県	0266-58-0490	okinow@po2.lcv.ne.jp
長尾 是史	実行委員	認定 NPO 法人びわこ豊稜の郷	滋賀県	077-583-8686	houjyounosato@lake-biwa.net
山崎 久勝	実行委員	NPO 法人蒲生野考現倶楽部	滋賀県	090-7240-4675	
湯木 保彦	実行委員	公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構	大阪府	06-6920-3035	hozenkiko@byq.or.jp
池田 満之	実行委員	旭川流域ネットワーク	岡山県	090-1013-0778	okakawa2@yahoo.co.jp
生野 宣宏	実行委員	NPO 法人仁淀川お宝探偵団	高知県	088-893-3275	ngckk745@ybb.ne.jp
杉原 哲	実行委員	NPO 法人大淀川流域ネットワーク	宮崎県	0985-20-2377	ooyodogawa@ace.ocn.ne.jp
小野 朋典	実行委員	リュウキュウアユを蘇生させる会	沖縄県	070-5270-1847	nrj59889@nifty.com

※委員は、平成26年10月1日現在



身近な水環境を調べよう！

第12回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い

次回調査の予定

2015年6月7日(日)を統一調査日として、第12回の全国一斉調査の実施を予定しています。
後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施のご案内をお送りしますのでよろしく願います。

小倉 紀雄

全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身近な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、毎年6月5日の「環境の日」に近い日曜日に実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット(無償で配布)を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(URL <http://www.japan-mizumap.org/>)や国土交通省水管理・国土保全のホームページ(http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyoku/research/index.html)で公表されています。

日時 2015年6月7日(日) 世界環境デー(環境の日)に近い日曜日
測定項目 気温、水温、COD、その他
測定方法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定(※1)
参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局(みずとみどり研究会)に、**2015年3月10日(火)**までにご送付下さい。
なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。
参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2015年5月頃に配布予定です。

問合せ先

○全国水環境マップ実行委員会 事務局
みずとみどり研究会気付(申込・問合せ)
〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202
TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

協賛企業等を募集しています

協賛いただいた企業、団体につきまして広告を結果概要パンフレットに掲載させていただきます。
当結果概要パンフレットは身近な水環境の全国一斉調査に参加した皆さまや関連団体などに毎年約7,000部配布しています。
詳しくは、全国水環境マップ実行委員会事務局までご連絡下さい。

誰でも、どこでもできる 水質の簡易分析製品

河川・湖沼のモニタリングに！

COD, アンモニウム, 亜硝酸, 硝酸, りん酸,
溶存酸素, 透視度 など



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

<http://kyoritsu-lab.co.jp> [バックテスト](#) [検索](#)
kyoritsu@kyoritsu-lab.co.jp TEL:03-3721-9207
〒145-0071 東京都大田区田園調布5-37-11 FAX:03-3721-0666

全国一斉調査 お申し込み先

FAX: 042-327-3169 E-mail: mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第12回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)からもダウンロードできます。 [Q](#) [身近な水](#) [検索](#)

2015年3月10日(火)までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■ これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

☐ 過去の参加あり ☐ 初めて

■ 参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名(個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません)

変更前のグループ名

■ 参加グループの連絡責任者 (個人参加の場合はご記入の必要はありません)

■ 連絡先 (グループの場合は連絡責任者の連絡先、個人の場合はご自宅など) 住所、電話、FAX、E-mail (特にE-mailアドレスははっきりとお書き下さい・携帯電話のE-mailは不可)

住 所: 〒

電 話

FAX

E-mail

■ 調査予定地点名 河川名など 例) ○○県 ○○川、××用水路、△△池。

■ 河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺(農業用水路、ため池等)で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒にご提出ください。(専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。)

☐ はい ☐ いいえ

■ 調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)より前に実施してください。

☐ 6月7日に実施する ☐ 6月7日に実施できない【その場合の予定 月 日】

■ 調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地 点 (水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください)

■ 今後の連絡手段

今後のご連絡についてはEメールを中心に行わせていただきます。Eメールをお使いでない方は、ご希望の連絡手段を、以下にチェックして下さい。

☐ FAX ☐ 郵便物など ☐ 電 話

■ 参加申し込みの確認はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。